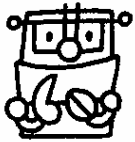


星は、1時間でどのくらい動くの



わかりやすい北の空で説明すると、北極星を中心にした円の角度で、約15度動くのさ。

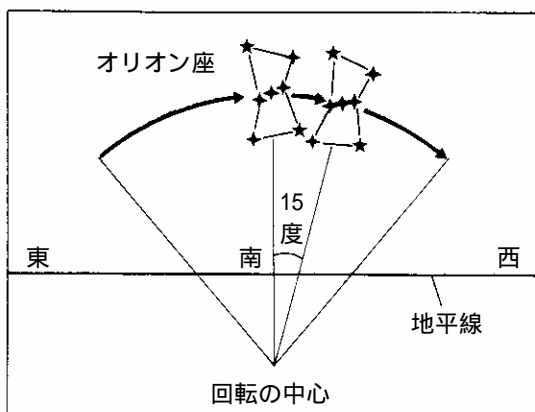
時刻を変えて南の空の星を観察すると、東から出た星座の、見える位置が少しずつ西のほうへ動いているのがわかります。

この動きは、じつは、地球が回転しているため起きるのです。地球は1日に1回転します。1回転するとき、太陽の側にむいた場所は昼になり、反対側は夜になります。1回転するということは、360度回るということですから、24時間で1回転するということは、360度を24で割ると、1時間に15度、動くことになります。

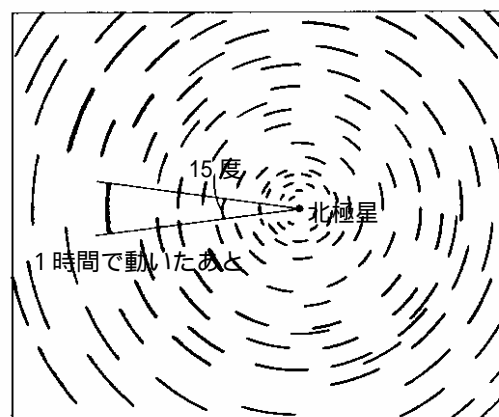
地球は、こまのように1日に1回転している

地球は、こまのように回っていて、そのじくは北極星の方向を指しています。そのため、北の空の北斗七星やカシオペア座は、北極星を中心に時計の針とぎやく回りに動いています。北の空を1時間シャッターを開けたままで写真にとると、星の動きが、北極星を中心にした円の1部を描くように、うつっています。その動いた線を、円の中心からはかってみると、約15度であることが確かめられます。

また、南の空の星は、真南の地平線の下にある点を回転じくの中心として、やはり、1時間に15度ずつ東から西へ動きます。



< 南の空 星の1時間の動き >



< 北の空 星の1時間の動き >